

計測制御分野で最新のシステムを提供する

ハビリス納入事例紹介

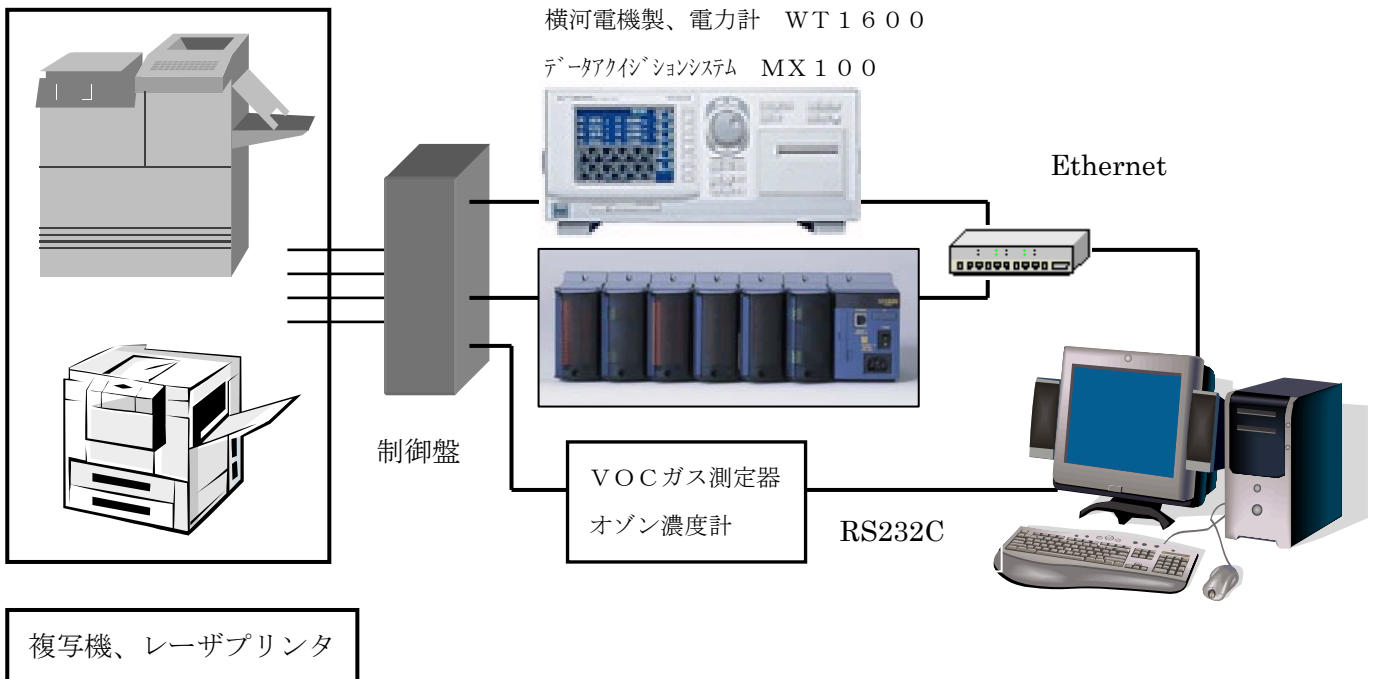
事務機器省エネ、オゾン・VOC測定システム

大気汚染防止法の施行、排出規制の強化によりトルエン、キシレン、ホルムアルデヒド等のVOC（揮発性有機化合物）やアルデヒド類（VVO）の排出に対する企業の取り組みが進んでいます。更にエコマークの認定基準においても、エネルギー消費の抑制と並んで、粉塵、オゾン、VOC類の放散の抑制に関する基準や証明方法が義務付けられてきております。製品の製造工程におけるVOC抑制の努力は製品の塗装、洗浄工程における削減の他、製品そのものが発するVOCについても対象になります。

複写機やレーザープリンタの場合、熱定着ユニットやスキャナユニットのように高熱が発生する箇所において、シリコン樹脂やテフロン製の部品からVOCやオゾンが発生します。

当事例はこの様な事務機器から放散される物質と消費電力の測定を行い、省エネ基準の達成のための製品開発や省エネ法・ASTM・エネルギースター・スイスエネルギー基準の申請書類作成までの処理の自動化を行い、製品品質改良、性能の向上のための解析を行ないます。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、複写機やレーザープリンタの品質保証、性能試験データの収集を目的としており、省エネに関する測定とオゾン、VOC（揮発性有機化合物）に関する環境負荷物質の測定を行い、環境にやさしい製品の開発に役立てております。

今後、地球温暖化対策によるCO₂削減の動きが急激に高まると共に、製品が自然環境に与える影響が出来るだけ少なくなるような方策が求められてくることでしょう。

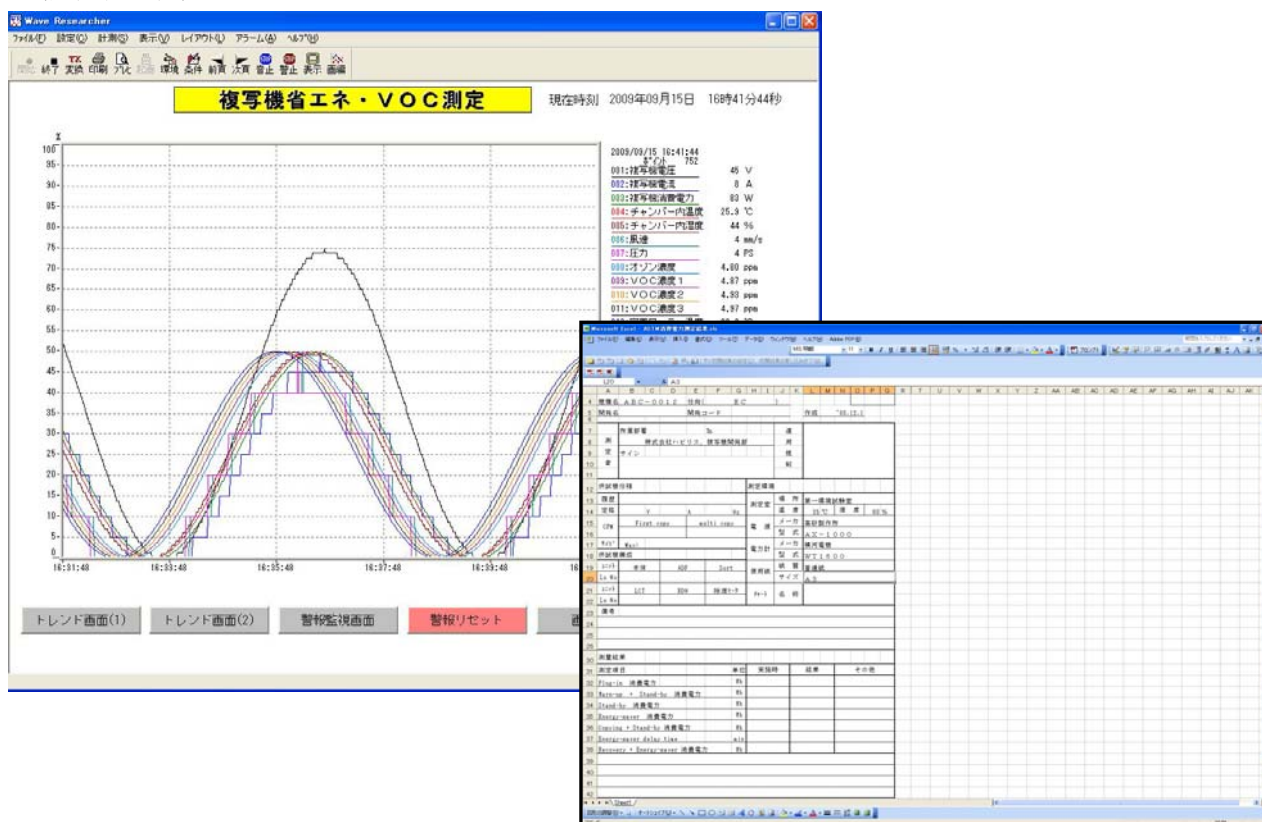
(2)主な処理内容と「ウェーブリサーチャー」の改造点について

①製品の省エネ度を計測するために、恒温試験室内に設置した複写機、レーザープリンタに電力計、MX100を接続し、省エネ法、エネルギースター、自社基準による動作条件を登録し、消費電力測定を行なう。測定したトレンドデータから該当する区間による演算を行い、EXCELにより省エネ申請書、届書の作成を行なう。

- ・スタンバイ条件、コピー条件、コピー間隔、複写速度、省エネモード等、複数の省エネ基準により試験条件を登録する。
- ・複写機電圧、電流、消費電力、チャンバー内温度、湿度、圧力、風速、換気量、大気圧、オゾン濃度、VOC濃度、製品各部温度
- ・対応省エネ基準：省エネ法・ASTM・エネルギースター・スイスエネルギー2000、自社基準

②オゾン、VOCに関する測定を行なうために、恒温試験室内に設置した複写機、レーザープリンタにVOCガス測定器、オゾン濃度計を接続しガス分析を行なう。

(画面表示例)



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285